

# エスカレーターは歩くところじゃない。

エスカレーターで左右両側に立ち止まるように呼びかける京都府理学療法士会が駅などに掲示する啓発ポスターを制作した。「あなたの『よかれ』は、だれかの『やめて』につながる」など京都芸術大の学生が考えたメッセージを添え、歩く人のために片側を空けることがマナーとされてきた常識からの転換を働きかけている。

リハビリの専門職でつくる同会は、けがやまひで左右どちらかの手すりにしか寄りかかれない人らがエスカレーターの片側を空けたり、歩かれたりすることに不向きや恐怖を感じていると指摘。2019年から啓発活動を展開している。

啓発ポスターは21年から制作し、4回目となる本年度は京都芸術大(京都市左京区)の学生に協力を要請した。エスカレーターのイラストに「抜かされる恐怖、感じています」「本当は歩くところじゃない」「止まる。それだけ」「時

## 府理学療法士会、京都芸術大生と啓発ポスター

代は変わった」など学生が考案したキャッチコピーを載せた5種類を作った。

ポスターは、京都市営地下鉄やJR西日本など主要な鉄道事業者が掲示する。今年は今畿1府4県の理学療法士会も参加して10者によるキャンペーンに拡大。一部は府外の駅にも貼られるという。

エスカレーターを歩く行為は転

倒や接触の恐れがあり、メーカー団体も禁止を呼びかけている。同会の担当者は「今年さらには活動の広がりを実感できた。最近ではエスカレーターの両側に立つて利用される場面を見る機会が増えたようにも感じている。引き続き、啓発活動を行っていききたい」と話した。

(高橋道長)



片側を空けることがマナーとされてきた常識の転換を訴える府理学療法士会のポスターの一つ